

祝 辞

(東京八重山郷友連合会主催・第19回東京八重山まつり)

本日ここに、東京八重山郷友連合会の皆様が一同に集い、「八重山はひとつ」を合い言葉に、第19回「東京八重山まつり」が開催されるにあたり、一言、ごあいさつを申し上げます。

皆様のふるさと、南国八重山ではうりずん（若夏）の到来を告げるように、新緑に映える木々や草花などが萌え、島々では爽やかな南風が心地良い季節を迎えております。

さて、東京八重山郷友会は、「会員相互の親睦と共栄を図ると共に、郷土八重山の発展に寄与する」ことを目的に活動を続けて参りました。本日の「東京八重山まつり」も、会活動の一環として、故郷を遠く離れた皆様が、一堂に集って開催される催し物であり、今では多くの皆様の、心の拠り所として、回を重ねて参りました。一つの祭りを続けることの難しさや厳しさは、私たちの想像に及ぶものではなく、故郷を離れて暮らす皆様が、故郷への思いを持ち続けてこられたことに対し、また、今日まで東京八重山郷友連合会を支えてこられました歴代の会長はじめ会員皆様に改めて、深甚なる敬意を表すところでございます。

昨年度は、竹富町の町制施行70周年の佳節を彩る「沖縄県竹富町島々の民俗芸能～世乞い～」の開催にあたっては、東京八重山郷友連合会会長をはじめ役員方々や、多くの会員皆様のご協力を賜り、盛大に開催することができ成功裏に終えることができましたことに対し、衷心より御礼申し上げます。今後とも、東京八重山郷友連合会の会員皆様と連携を密にし、よりよい、ふるさと竹富町づくりに向け、邁進いたしたく、お力添えを賜りたいと願うものでございます。

結びに、本日会場にお越し頂いた多くの皆様とともに、第19回八重山まつりのご盛会と、東京八重山郷友連合会のますますのご発展、あわせて、会員皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

竹富町長 西大舩 高旬